

「高江中学校の高江不思議発見！の取組」

1 学校名

薩摩川内市立高江中学校

2 学年・人数

1年 3人 (峰山小5・6年生9人と合同)

3 日時・場所

(1) 調べ学習, フィールド学習

- ・ 6月～平成30年1月 ふるさと・コミュニケーション科の時間
- ・ 現地調査：平成29年9月26日(金)

柳山アグリランド, 川内川

- ・ 長崎堤防, 江之口橋, 猫岳についての調べ学習：6月～平成30年1月
- ・ 発表資料作成：平成29年9～11月

(2) 発表の日時・場所

- ・ 平成30年2月21日(水)
高江不思議発見発表会

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ ながさきていぼう 長崎堤防：江戸時代(1687年)
- ・ えのくちはし 江之口橋：江戸時代(1848年)
- ・ ねこだけ 猫岳：安土桃山時代(1587年)

(2) 特徴

- ・ 長崎堤防：かつての高江は川内川の潮が流入し, 不作地帯であった。小野仙右衛門は, この地の大規模な干拓工事に取り組んだ。延宝7(1679)年に着工し, 約8年の歳月を費やし1687年に長崎堤防が竣工された。その結果, この辺り一帯は立派な水田に生まれ変わった。仙右衛門は苦心の末, 鋸の歯形の堤防を考案した。川内川の激しい流れを抑えることに成功したが, 仙右衛門の一人娘袈裟姫が人柱となって身を投じたとの伝説も残っている。近くには仙右衛門の功績を称える小野神社があり, 川岸にある岩には仙右衛門が刻んだ「心」の文字が今も残っている
- ・ 江之口橋：肥後の名工である岩永三五郎が, 薩摩藩で手掛けた最後の石造眼鏡橋といわれている。1848年に始まった人間川工事の一環として造られ, 昭和47年4月1日に市の有形文化財(建造物)に指定された。
- ・ 猫岳：標高120m。1587(天正15)年5月, 豊臣秀吉の九州征伐にお

いて猫岳城が築城された。先陣の小西行長らは薩摩川内に侵入したものの島津氏の抵抗がみられ、この猫岳および北側の猪子岳に一夜城を造ったとされる。

5 保存会や地域との連携の具体

平成 27 年度にふるさと・コミュニケーション科の時間を利用して学習した川内歴史資料館で学芸員からの資料や、地域の歴史に詳しい専門家の方から講話やフィールドワークの際にいただいた資料も、参考に学習した。

6 活用の取組の工夫した点

発表会調べ学習に向けて、プレゼンテーションを作成し、写真等を取り入れた。説明だけでなく、調べた感想についても原稿に入れた。

7 取組の様子（フィールドワーク）



【長崎堤防】



【猫岳】



【江之口橋】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒】

- ・ 猫岳の話聞いて、これまでも学習してきたけど、近所にある山がこんな歴史があるんだなと思いました。
- ・ 江之口橋について、説明を聞いて実際に見るとあんなに昔に造られたのに、今でも利用されているのですごい技術だなと思いました。
- ・ 長崎堤防があるおかげで、水害も減り、高江の水田でおいしいお米がたくさんとれるので、昔の人々に感謝したい。

【教員】

生徒たちは、地域の方からの説明を真剣に聞き、身近にこのような歴史的な史跡が多く存在することを、あらためて感じているところであった。このような高江の歴史をこれからの世代に中心となり、伝えて行くことを期待している。

【地域の方から】

高江地域は、歴史的な史跡が多く、触れる機会や学習する場があることは、生徒たちにとって、大変恵まれていることである。これからも地域の歴史を学ぶことを通して、地域に誇りをもった大人に育ってほしい。